

# 広報 ますざわ

第 51 号

令和 5 年 7 月 20 日 発行

【発行元】 鱒沢地域づくり会議  
事務局(鱒沢地区センター)  
TEL 69-1150 FAX 67-2157

【鱒沢の人口】

男性：410 人 (△4)

女性：449 人 (△1)

計：859 人 (△5)

※ ( ) 前月比 R5.6.30 現在

## 鱒沢地区センター

### 新築工事起工式及び

### 安全祈願祭開催

晴天の 7 月 9 日(日) 鱒沢地区センターの新築工事・安全祈願祭が執り行われました。

多田遠野市長はじめ施工業者である(株)テラ、(有)菊池設計、鱒沢地域づくり会議役員、地域の代表者及び関係者 30 名が出席し工事が円滑且つ安全に行われ、小さな拠点の核となる鱒沢地区センターが予定通り完成されるよう祈願しました。



## 鱒沢小学校全校児童と名所めぐりを実施



↑体育館でDVD映像を視聴している様子

6 月 22 日(木)、交流と継承ワーキンググループ(以下WG)ではまちづくり計画の事業の一つとして鱒沢小学校全校児童と昨年に引き続き名所めぐりを実施しました。生まれ育った鱒沢に興味を持ち、好きになるきっかけになってもらえればという思いで行われたものです。

はじめに児童 12 名が体育館に集まり、佐藤牧夫WGリーダーのあいさつのもと、地域マップ「実はすごいぞ！鱒沢ひすとりのり」を基に制作したDVD映像をWGメンバーの多田一也さんの解説により視聴しました。その後児童たちはスクールバス 2 台に乗車し名所の見学に出発しました。

と嬉し  
い声が  
あがり  
交流と  
継承の  
バリエ  
ーション  
がまし  
なまし  
ました。



↑給食を食べながら交流している様子

学校に戻り、振り返り学習では、感想や質問を一人一人発表しました。その後、WGメンバーと児童達は給食を一緒に食べながら交流し、帰る時には「また、来年もね。」



↑白石神社で説明を聞く様子

最初に『白石神社(兜明神)』をWGメンバーの多田博子さんが解説しました。続いて上鱒沢地区の『桜並木と堤防』についてWGメンバーの佐々木政嗣さんが解説しました。最後に柏木平地区の『砥森神社』をWGメンバーの多田一也さんが解説しました。

## 宮守町民野球大会優勝2連覇



7月2日(日) 達曾部小学校グラウンドで宮守町野球大会が開催されました。この日は朝から晴天に恵まれ、暑さとも戦う一日となりました。試合はリーグ戦で行われ3チームが参加しました。鱒沢地区は今年も上鱒沢、下鱒沢、迷岡体育協会の合同チームで大会に臨みました。第一試合は鱒沢対達曾部0-0で引き分け、第二試合は下郷対鱒沢3-10で鱒沢がコールドで勝ちました。第三試合は達曾部対下郷5-3で達曾部が勝ちましたが、得失点差で優勝は鱒沢体育協会となりました。

## 下鱒沢自治会敬老会開催

7月2日(日)に下鱒沢自治会では4年ぶりに敬老会を行いました。鱒沢就業改善センターを会場に75歳以上の17名が出席し、手づくりのお煮しめなどを食しながら久しぶりの再会に話しもはずみました。更に、スクリーンに映し出された45年前のお祭り映像では、若かりし頃の地域の皆さんの姿に会場は盛り上がったそうです。



## 鞍迫観音・白山神社例大祭開催

～みんなで築くふるさと遠野推進事業補助金活用～



五穀豊穡と地域発展を願い7月9日(日)に鞍迫観音・白山神社例大祭が4年ぶりに開催されました。白山神楽(はくさんしんがく)と鱒沢神楽の神楽(しんがく)が奉納され厳かに神事が執り行われました。

## 地区まちづくり計画事業 WG (ワーキンググループ)

### 集い・にぎわいWG

7月11日(火)18時30分から鱒沢就業改善センターで第1回目のWGを開催しました。

5月30日(火)に運営協力をした鱒沢小学校の祖父母交流会の様子が報告され、引き続き今年度の事業計画であるサロン対抗スカットボール大会について検討しました。今年度はこれまでの内容を見直し、子供から大人まで各年代の方が集い、わいわい楽しめるようなスカットボール大会にしよう!という方向で計画を進めていきます。開催予定日は11月4日(土)、会場は鱒沢小学校体育館を予定しています。

### 暮らしの安心WG

6月20日(火)18時30分から鱒沢就業改善センターで第2回目のWGを開催しました。

今回のWGでは、小友町で移動販売事業を展開している有限会社オーパーツの及川社長をお迎えし、民生委員の方達にも出席頂き情報交換を行いました。及川社長からは経営理念や体験談などを話して頂きました。鱒沢地区の利用は現在約30件あり、一番の困りごとは冬の訪問時に雪で家の前まで行くことが困難になることと話がありました。WGでは、生活に欠かすことができない移動販売車が困らないための支援が今後の課題となります。